

### 第3 | 回長崎県肢体不自由教育研究大会実施要項

- 1 テーマ 新しい時代を生きていくための資質・能力の育成を目指した授業改善  
 ～個別最適な学びと協働的な学びの実践を通して～
- 2 趣旨 平成29年の学習指導要領告示を受け、長崎県立肢体不自由教育特別支援学校4校では、平成29年度から令和4年度までの6年間、学習指導要領の理念である「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、カリキュラムマネジメントの視点で研究を進めてきた。これまでに「教育課程と授業との関連」「育成すべき資質・能力の三つの柱を明確にした授業改善」「指導内容と学習評価の一体化」などに取り組み、協議を行ってきている。  
 令和3年1月の中教審答申「令和の日本型学校教育の構築を目指して」では、先行き不透明で急激に変化するSociety5.0時代到来の中で育むべき資質能力として「一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要」としている。肢体不自由教育特別支援学校においては、近年、在籍する児童生徒の障害が多様化、重度重複化しており、子どもたちが新しい時代を生きていくために育成すべき資質・能力をより明確にし、個別最適な学びと協働的な学びを通して資質・能力の育成に取り組むことが必要である。そして、子どもたちが何を学んだのかの評価を次につなげる授業改善のサイクルを構築し、生きる力を育むことが求められている。  
 そこで、令和5年度から令和7年度までの3年間は、新しい時代を生きていくための資質・能力の育成を目指した授業改善をテーマとして取り上げ、個別最適な学びと協働的な学びの実践を通して各校及び4校の課題について協議していくこととした。  
 本大会では、分科会において各校の取組や提案をもとに、御参会の皆様と協議を深めたい。  
 さらに、横浜国立大学教授 徳永 亜希雄氏の講演を通して、学習指導要領に基づく教育実践や特別支援学校が目指す方向性について共有し、明日からの教育活動に生かしていきたい。
- 3 期日 令和7年8月6日(水)
- 4 会場 ○シーハット大村 さくらホール、コミュニティセンター第1～4会議室  
 〒856-0836 大村市幸町25-33 TEL 0957-20-7200
- 5 主催 長崎県肢体不自由教育研究協議会
- 6 後援 ○長崎県教育委員会           ○大村市教育委員会           ○長崎県特別支援学校長会  
 ○長崎県肢体不自由児協会   ○日本教育公務員弘済会長崎支部
- 7 参加者 ○県内特別支援学校教職員   ○県内小中高等学校教職員       ○その他関係者
- 8 参加費 1人 500円 ※県内肢体不自由教育4校以外は当日受付にて徴収します。

### 9 日程

時 間	内 容
9:10 ~ 9:30	受付
9:30 ~ 9:45	開会行事
9:50 ~ 10:40	全体会Ⅰ【各校発表】大会テーマに基づいた1年間の取組の報告(10分×4)
10:50 ~ 12:10	全体会Ⅱ【講演】(80分)
12:10 ~ 12:20	諸連絡
12:20 ~ 13:30	昼食・休憩・移動
13:30 ~ 15:20	分科会【各校の取組・協議・指導助言】(110分)
15:20 ~ 15:30	閉会行事

### 10 講演

**演題** 「昨今の学校教育を巡る動きを踏まえた、今後の肢体不自由教育実践の検討」  
**講師** 横浜国立大学 教育学部 学校教員養成課程 特別支援教育 教授 徳永 亜希雄 氏

### 11 分科会

- 分科会1 「子どもが考えや思いを伝えたり、学びを生かしたりするための授業実践  
 ～教科横断的に学びをつなぐ取組を通して～」**
- 内 容 教科等の学びのつながりと学びを活用発揮させる場面を意識した授業実践  
 ～小学部短期在籍・少人数の学習集団において
  - 発表者 諫早東特別支援学校 教諭 大町 美緒 立花 みか
  - 指導助言 長崎県教育センター 指導主事 甲斐田 奈保 氏 会場：コミュニティセンター2階
- 分科会2 「豊かなスポーツライフの実現を目指した保健体育科の取組  
 ～生涯にわたってスポーツとかかわるために～」**
- 内 容 保健体育科の学びを課外学習や卒業後につなげるための教育課程編成と授業実践について
  - 発表者 佐世保特別支援学校 教諭 田上 昌利
  - 指導助言 長崎県教育センター 指導主事 麻生 啓介 氏 会場：コミュニティセンター1階
- 分科会3 「生徒の学びをつなげるための授業改善の取り組み  
 ～国語・数学の学びを生かした生活単元学習の授業実践～」**
- 内 容 知的障害特別支援学校の小学部1～2段階を学ぶ生徒の授業づくりとそれを支える仕組みづくりについて
  - 発表者 諫早特別支援学校 教諭 本村 万季子 高木 元
  - 指導助言 長崎県教育センター 係長 西村 大介 氏 会場：さくらホール

### 12 資料

大会の資料につきましては下記のURLまたはQRコードよりダウンロードしてください。  
 (会場での配布はありません。7月28日を日付にアップロードします。)  
 長崎特別支援学校ホームページ <https://www2.news.ed.jp/section/nagasaki-ss/>



### 13 その他

昼食はさくらホール、さくらホールのロビー、分科会2の会場が使用できませんので、分科会1の会場又はコミュニティセンター1階カフェスペース、コミュニティセンター2階ロビー、最寄りの飲食店でお願いします。

<お問い合わせ先>  
 長崎県肢体不自由教育研究協議会事務局 長崎県立長崎特別支援学校  
 TEL:(095)827-6619 FAX:(095)827-6624  
 E-mail:nagasaki-ss@news.ed.jp  
 担当:教頭 網代 比呂恵 教諭 宮地 康平